

下水道は私たちの安全で快適な暮らしを支えています。今回の特集は下水道です。

私たちが普段、何気なく送っている生活は、下水道に支えられていることをご存じですか。下水道は、清潔で衛生的な生活環境を守り、道路冠水などの都市災害を防ぎ、川の水質をきれいに保って地球環境を守るなど、とても重要な役割を果たしています。日ごろ、あまり意識することのない下水道について、あらためて考えてみませんか。

1. 下水道のしくみ

下水には、家庭や工場などから排出される「汚水」と降雨による「雨水」があり、それぞれの「ます」を通して下水道に流れていきます。

- 汚水ます 家庭・事業所の排水管と下水道をつなぐもの。
- 雨水ます 道路に降った雨を速やかに下水道に流すもの。



【汚水ます】



【雨水ます】

このように下水には、汚水と雨水がありますが、下水道の形態は、汚水と雨水を同一の下水管に流す「合流式」と、別々に流す「分流式」の方法があります。

2. 合流式下水道の改善策（雨天時の対応を進めています）

汚水と雨水を同一の下水管で流す合流式下水道では、降雨により下水管に流れ込む水の量が増えた場合、雨水吐き口から未処理の下水が河川に放流されることがあります（越流水）。

そこで市は、越流水による衛生面や水質への影響を軽減するため、汚物やごみ等の流出を抑制する対策を実施しています。また、下水管への雨水の流入を抑制する雨水浸透施設の設置を進めています。

3. 下水道の正しい使い方

下水道は、生活環境や自然を守るための、私たちの大切な施設です。家庭や事業場、道路などで下水道を正しく使わないと、悪臭を発生させたり、下水道が適切に機能せず水害の発生する原因となったりします。皆さん、下水道を大切にしましょう。



① 洗たくをするとき、洗剤の使いすぎにご注意を

洗剤の中には、微生物が食べにくい（下水処理が難しい）ものが含まれている場合があります。適正な使用量を守り、必要以上に使わないようにしましょう。

② 次のようなものは、流さないで下さい

○ ガソリンなどの危険物

ガソリン・石油・シンナーなどを下水道に流すと、気化し

て爆発などの事故のもとになります。絶対に流さないでください。

○家庭から出る生ごみ

野菜くず・魚の骨・ビニール製品・紙おむつ・天ぷら油・ラードなどを流すと、排水管や「ます」が詰まり、悪臭の原因になります。

○たばこの吸殻

雨水ますや汚水ますは、ごみ箱ではありません。たばこの吸殻などを捨てるとう悪臭の発生や下水管が詰まる原因になります。

③雨水ますのまわりの掃除をしましょう

雨水ますの上にごみや空缶などが溜まると、下水管へ雨水が流れず、道路に水があふれてしまいます。また、道路に溜まったごみや土砂などを「ます」やマンホールに捨てるとう下水管が詰まってあふれることがあります。

④食べ残しや油は流さないようにしましょう

残り物や油を流すと、水が汚れるだけでなく、下水管を詰まらせたり傷つけたりします。特に、下水処理場の微生物は、油が苦手です。食べ残しはごみ箱へ、油は使いまわして使い切り、最後は古新聞などに吸い込ませて燃やせるごみとして捨てましょう。

⑤「単体ディスポーザ」は使わないでください

台所の野菜くずや魚の骨などの生ごみを砕いてそのまま流す単体ディスポーザは下水管を詰まらせたり、悪臭の原因になるおそれがあるので、使わないでください。

4. 環境と下水道を守る雨水浸透施設をご存じですか

雨水浸透施設の効果は、

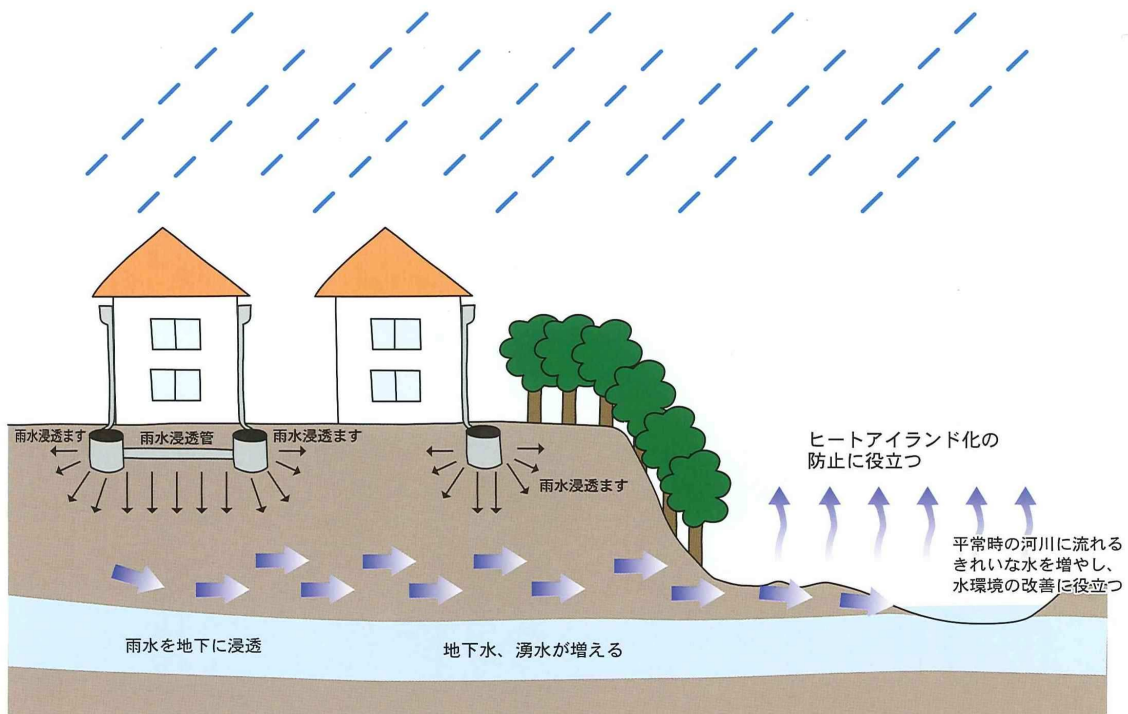
- ・地下水、湧水が豊かになります。
- ・下水道施設の負担軽減につながります。
- ・ヒートアイランド化の防止に役立ちます。



雨水浸透施設のしくみ

多摩地区では、都市化が進み地表が舗装などの人工物で覆われ、雨水がしみ込みにくくなってきています。都市化が進むと、降雨時に急な河川の水位上昇や道路等の浸水などの都市型水害が発生しやすくなります。

「雨水浸透ます」や「雨水浸透管」などの雨水浸透施設を設置することにより、地下にしみ込む雨水の量が増えて、地下水や湧水が豊富になり、水循環の保全に役立ちます。また、下水管に流れ込む雨水の量が減るため、下水管の負担が軽減されます。



5. 雨水浸透施設の設置費用を補助します

市は、雨水を地下にしみ込ませる雨水浸透施設の設置を進めています。

雨水浸透施設には、「雨水浸透ます」と「雨水浸透管」の2種類があります。これらを設置することにより、雨水の地下

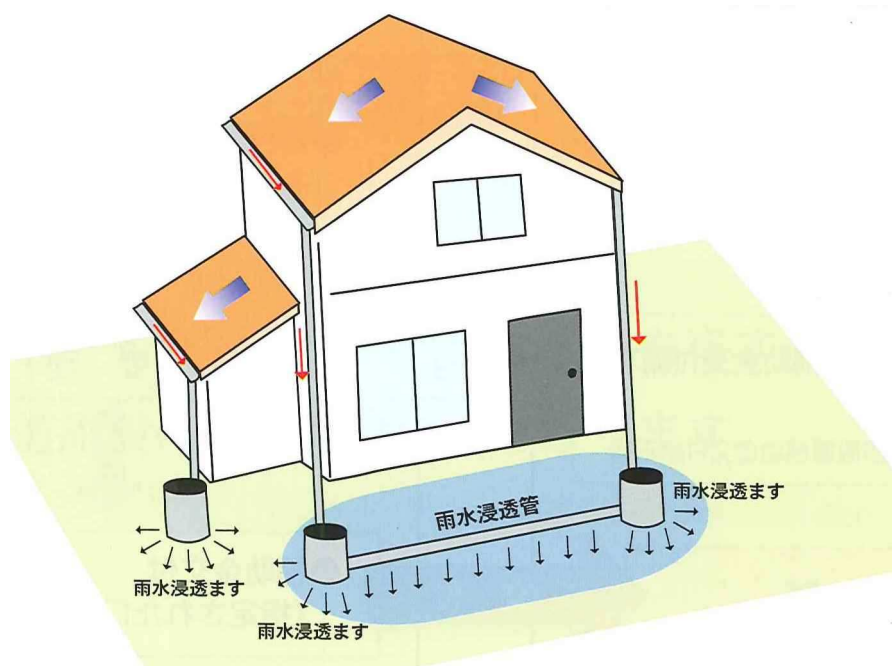
にしみ込む量が増えて、

湧水や地下水が豊富になり、水循環の保全に役立ちます。

また、雨水が下水管に流れ込む量が減るため、

下水管の負

担が軽減されます。



市では、住宅の新築や建て替え時に雨水浸透ます等の設置をお願いしてきましたが、より一層設置が進むよう、既存住宅にこれらを設置する際の費用を補助します。

補助を受けるためには、一定の条件があります。希望される方は下水道管理課排水設備係（内線2211）へご相談ください。

6. 下水処理場のはたらき

市内の単独処理区で排出された汚水や雨水は、錦町下水処理場で適正に処理されます。処理水は多摩川へ放流されるほか、高度処理水は根川緑道のせせらぎ用水（右写真）や柴崎市民体育館などの雑用水として、また、処理する過程で発生した焼却灰は、セメントの材料として利用されています。



錦町下水処理場

